

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名【 福知山認定こども園 】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで行動指針の唱和をする、保育方針や理念を見えるところに掲示をする等し、常に意識をしている。 ・会の保育理念を理解した上で、全体的な計画を作成、長期計画、中期、短期計画に反映させ保育を実践している。 		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	A
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議やケース会議で情報共有する他にも、定例的に幼児、乳児それぞれの担当会議を行い、短期的な保育の振り返りと計画を議論し、質の高い保育を目指している。 ・毎日の清掃を行い、整理整頓を意識し、子どもたちが心地よく過ごせるように心がけている。 		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での健康状態をコモンツールから把握し、それに加え 送迎時に保護者から聞き取りを行っている。 ・マニュアルを整備し、日々の保育の中で午睡時の観察や記録、感染症時の対応などマニュアルに基づき対策を行っている。 		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・行事については事業計画を作成し、実施、振り返りのPDCAサイクルののっとり、行事の終了と同時に評価を行い、次回に活かしている。 ・年度末に内容や時期などの見直しを行い、適切に実施している。 		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・食材に触れる機会を設けたり、サンプルの提示などを行ったりし、食育に力をいれている。 ・調理担当と保育者が給食会議や食育計画を通して連携し、職域をこえて子どもの育ちを支える体勢がとれている。 ・調理担当者が保育室に向き、喫食状況を確認したり、献立のコンセプトについてし伝えたり、子どもとのコミュニケーションも図っている。 		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	A
評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役割分担を明確にし、迅速に対応できるような体制が整っている。 ・定例会議の前には、事前に話し合いを行い、意見の集約、資料作成といった下準備で効率よく会議が進行できるようにしている。 		

自己評価の観点		前年度の の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようになっている		A	A
④ 廊下に落ちていたものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		A	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 園で起きた事象をヒヤリットで共有し、安全意識を高め、防止に努めている。 避難訓練は、様々なケースを想定し月一回行っている。 毎月「保健・安全だより」を発行し、家庭への情報発信にも努めている。 		
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	A
② 研修報告を園内で実施している		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 個々の職員の経験値に応じた研修に参加できる体制がある。また、職員会議内で研修報告を行ったり、報告レポートを閲覧したりして研修内容を全職員で共有している。 		
9. 情報管理について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理は、鍵付きの棚で保管・管理を徹底している。個人記録等、保存年数に合わせて適切に管理・処理をしている。 会のコンプライアンスアクションプランを用いて、意識付けを行っている。 各帳簿は、ノンコンタクトタイムを有効に活用し、勤務時間内に業務が達成できるようにしている。 		
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストをもとに、定期的に安全点検を行っている。掲示板を、玄関の目につく場所に新たに設置し、必要な情報用途に応じて提供するように工夫している。 		
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時は意図して保護者に園舎に入ってもらい、保育環境、子どもたちの様子、保育者の姿勢を目で見ていただこうとしている。また保護者とは直接的なやりとりを心がけ、場合に応じてCODMONアプリでのやりとりも取り入れ積極的にコミュニケーションを図っている。 保育内容への保護者の理解が深まるように、ドキュメンテーションを活用しながら、活動の様子を分かりやすく掲示している。 		
12. 開かれた園づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		A	A
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している		A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた園作りを目指し、園庭開放を始め、地域の関係機関とも連携を取っている。 インスタグラムやブログで園の活動や情報、日々の様子を保護者だけでなく地域の方々に向けても発信している。 利用者は少ないが毎週土曜日に「子育て相談日」を設け、対応できる体制が整っている。 		
13. 情報発信について			
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている		A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> コドモンやインスタグラムを活用し、行事の様子や日々の様子を発信に努めている。 関係機関や地域の連絡会に参加し、子どもの育ちについて情報交換を行ったり、地域の小学校や近隣施設の行事などにも積極的に参加している。 		
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている		A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている		A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> 外部や地域の研修に参加することに加え、人権・不適切保育をテーマに園内研修を実施し、職員一人ひとりが人権意識を高めている。 各家庭の状況を把握し、多様性を受け入れて一人ひとりの子どもや保護者に関わるように務めている。 		
15. 総括			
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。			
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点 ・保護者への保育発信ツールとして、ドキュメンテーションをこまめに作成しているが、より一層の関心が高まるような工夫として作成したシートにクラスのネームプレートをつけるようにした。又、インスタグラムを見たという声もよく聞かれるようになったので、頻繁に保育の様子をお知らせする方法として活用するようになった。 ・大小様々な規模の会議やミーティングの中で、職員一人ひとりが発言する機会があり、積極的な意見交換や情報共有ができていた。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 ・子どもの発達や個性に応じた環境設定に加え、子どもの意欲をさらに高められるような遊びの環境を整えることが課題にあがっている。職員間で平日頃から子どもの姿を共有しているが、その子どもの姿から遊びへと展開していくように話し合いを深め、職員全体で保育の充実を図ることができるように取り組んでいきたい。 ・職員の経験年数の幅もあり、保育や行事について話し合い、意思統一を図り実行したが、実行していく中で互いに伝わっていないかと思っていたことが充分に共有されていなかったり、伝え方が伝わっていかず理解に差が生じるがあった。話し合ったことを文章にする、チェックリストを作成する等、理解のずれを減らしていくことが課題と考える。 			